【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成23年11月17日(2011.11.17)

【公開番号】特開2011-179658(P2011-179658A)
【公開日】平成23年9月15日(2011.9.15)
【年通号数】公開・登録公報2011-037
【出願番号】特願2010-46607(P2010-46607)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｄ　65/18　(2006.01)
Ｈ０２Ｋ　5/10　(2006.01)
Ｆ１６Ｃ　19/02　(2006.01)
Ｆ１６Ｃ　33/76　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｄ　65/18　Ａ
Ｈ０２Ｋ　5/10　Ａ
Ｆ１６Ｃ　19/02
Ｆ１６Ｃ　33/76　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成23年10月3日(2011.10.3)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００６８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００６８】
ところで第１の遊星ギヤ機構６１において、第１キャリア６６には複数の第１支持ピン７５…の一端部が固定され、第１遊星ギヤ６５…に設けられた第１支持孔７６…に第１支持ピン７５…の他端部が挿通されるのであるが、各第１支持ピン７５…の他端部に対向する環状凹部９１が、ギヤケース６０の第１遊星ギヤ６５…に対向する壁面、この実施の形態ではキャリパボディ２６とともにギヤケース６０を構成するモータケース８３の一部である蓋部材８８の平板部８８ｂに形成されるので、第１遊星ギヤ６５…に対する第１キャリア６６の軸方向相対移動によって第１遊星ギヤ６５…から突出した第１支持ピン７５…の他端がギヤケース６０の内面に接触してしまうことを防止しつつ第１支持ピン７５…の長さを長く設定することができ、それによって第１遊星ギヤ６５…への第１支持ピン７５…のかかり代を大きくして第１遊星ギヤ６５…の回転安定性を確保することができる。